

1 『復讐サロン』

2 ※実際の作品とは微妙にセリフが異なる点があります

3 ●南部ハルカ (CV: マシユマロ焼太郎さん)

4 身長: 170センチ

5 年齢: 24〜25

6 ドラッグレイブ常習犯。

7 無邪気な後輩キャラで通っているが、気弱そうな女を飲みにさそっては酒に薬を混ぜ、
8 寝てるところを犯して動画を収集している。

9 それだけにとどまらず、動画をタネにヒロインを奴隷のように扱うが、バレそうにな
10 ると「ヒロインに付きまとわれて困ってる」と吹聴し、会社から追い出すことに成功。
11 すべてを失ったヒロインによって復讐される。
12 ヒロインのことは「先輩」と呼ぶ

13 ●コンシエルジュ

14 苦しめられた女性の復讐をサポートする優しい人。
15 男をさらって身動きが取れない状態にして拷問する機材もそろえてくれるいい人。

1 ■共通プロローグ ウエル、ウエル、ウエル

2 なんてことのないリラクゼーションサロンの一室に訪れるヒロイン。
3 そこは非合法的な復讐の手伝いをしてくれる、女性専用のサロンだが、とてもそうとは
4 思えないほどやさし気で、穏やかなコンシェルジュが出迎えてくれる。
5 心傷つき、怒りに燃え、しかし常識と不安によって復讐に踏み切れずにいるヒロイン
6 を、コンシェルジュは優しく、ヒロインにとって本当を選ぶべき選択へと導いていく。
7 うさんくさい感じにならないよう、優しくしたわるように。

8
9
10 SE：ドアが開く

11 SE：ドアベル

12 BGM：心地よいカフェ

13
14
15 【6 遠めに】

16 コン「いらつしやいませ。

17 ご予約のお客様ですよね？

18 お待ちしておりました。

19 どうぞ、こちらのソファに」

20
21 SE：足音

22 SE：ソファに座る

23
24
25 【1】

26 コン「さあ、聞かせていただけますか？

27 あなたがどれほど苦しめられたのか。

28 どれだけ怒りを抱き、憎しみかられ、

29 そして、どれほどの勇気を振り絞ってここに来たのか。

30 資料は事前にいただいていますか……

31 お客様の口から、直接聞かせていただきたいのです」

32 【コンシェルジュ、立ち上がり、ヒロインの正面を行ったり来たりしながら】
33
34
35

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

【ヒロインの前を行ったり来たりしながら、最後に背後に立つ】

コン「ご存じの通り、当店は少々過激な方法によつて、

お客様の心のケアをお手伝いしております。

お客様のように優しい方は、

その過激さに耐えられないことも多い。

ですが、報いを受けるべきクズというのは、

この世界に存在する」

【4 背後から囁く】

コン「あなたを苦しめた、あの男のように」

【4 耳元で】

コン「さあ、思い出してください。

あなたが一体何をされたか。

それを話してもまだその男を許せると思った時は、

どうぞお帰りになってください。

けれど、やはり許せないと思ったときは——ふふ。

目にももの見せてやりましょう」

【6】

コン「わたしと、あなたで——ね♡」

トラック1 南部

ラブホで目覚める二人。酒とドラッグで記憶が飛んでるヒロインは何がなんだかわからないが、南部が「先輩が無理矢理迫ってきたんですよ」と動画を提示する。

場所…ホテル

時刻…朝

SE:目覚まし

【7】

南部「【寝起き】ん……んう〜

ふああ……あ、おはようございます、先輩。

つてかこれ、先輩のアラーム？

いつもこの時間に起きてるんですか？ 朝早すぎ……」

SE:目覚まし停止

【ヒロイン、うろたえる】

【1 ベッドで隣り合う距離】

南部「えー？ ここ？ どこだっけ……

駅近のラブホだと思うけど……」

【ヒロイン「どうして？」】

南部「どうしてって……そりゃ、セックスしたからでしょ？

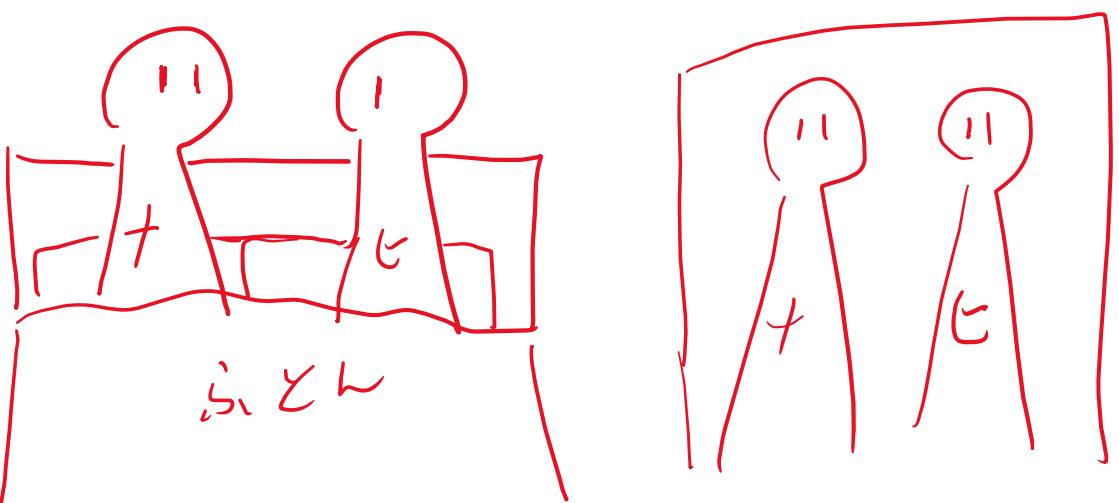
覚えてないんですか？

昨日ベロベロに酔っぱらって、

歩けないからラブホに連れてって〜って言い出して、

そのまま僕の事押し倒したの」

【ヒロイン「そんなことしてない！】



1 【1】

2 南部「あれ？ ひどくないですか？
3 僕は嫌だったのに、先輩だから逆らえなくて、
4 しようがなくセックスしたのに、
5 覚えてないなんて……」

6 南部「これって、女から男への強姦ですよ？
7 証拠の動画もあるんですから。ほら」

8 SE：動画再生音

9
10
11
12 南部「ね？ 先輩、ちゃんと自分で言ってますよね？
13 “生で入れてえ、中にだしてえ”って」

14
15
16
17 【ヒロイン、青ざめ、動画を消してと南部からスマホを奪おうとする】

18 SE：激しめの衣擦れ

19 南部「おっと！ だめだめ。
20 消すわけないじゃないですか。
21 大事な証拠なのに。
22 まあこれ、僕が言えって言ったから、
23 オウム返しで言ってるだけなんですけどね。
24 先輩、まともに意識なんてなかったし。
25 でも、そうは見えないでしょう？
26 僕、こういうのとの得意なんです。
27 合意セックスの証拠動画」

28
29 南部「この動画、ネットにアップしちゃおうかなあ。
30 それか、会社にばらまいちやおうかなあ」

31
32 【ヒロイン「やめて」】

33
34
35
36

【1】

南部「やめてほしい？」

いいですよ。【ベッド降りる。】

【服着ながら】じゃあ、今日から先輩は僕の奴隷ってことで。

よかったあ！先輩、生真面目すぎてウザかったんですね。

二度と僕に、つまらない小言言ってこないでくださいよ」

SE:ベッドから降りる

SE:服着る

【1→15→14】

南部「じゃあ僕、一回家に帰ってから出社するんで。

この支払い、よろしくお願ひします。

「ちそうさまでした。せーんぱい」

SE:離れる足音

SE:ドア閉まる

■場面転換

【しばらく南部の奴隷として過ごしていたヒロインだったが、社内で妙な目で見られ始めたため、南部がヒロインを切り捨てる】

SE:オフィスのざわめきフェードイン

SE:電話の呼び出し音※社内の電話でスマホではない

【3】

南部「あ、もしもし先輩？」

急に「ごめんなんですけど、

今から僕が言うセリフを繰り返してもらっていいですか？」

【ヒロイン「今仕事なんだけど」】



1 【3】
2 南部「やだなあ。仕事だからこそ、
3 言ってほしいんじゃないですか。
4 じゃあ、行きますよ。ちゃんと覚えてくださいね。
5 “あ、南部君？
6 ちゃんと時間通りに電話してくれて嬉しい。
7 私の事、好きなんだね。私も好きだよ。
8 次は一時間後に電話してね。
9 してくれなかったらお仕置きだからね”」
10

11 【ヒロイン「は？」】
12

13 南部「んー？ 何黙ってるんですか。
14 早く言ってくださいよ、ほーら。
15 言ってくれないなら、
16 動画をグループラインに流しちゃおうかな？」
17

18 【ヒロイン、慌てて言う】

19 【南部、ストーカー女の仕打ちに怒り、怯え、決意を込めた感じで次のセリフを言う】
20
21 南部「もう、いい加減にしてください！
22 先輩と先輩だからって、
23 こんなの変ですよ……！！
24 あの夜だって、僕は嫌だったのに、
25 先輩が無理矢理……！！
26

27 なのに、男だからって僕が悪いみたいに……！！
28 もう無理です。先輩の言いなりになるくらいなら、
29 全部上司に言って会社を辞めます。
30 僕、この会話録音してますから。
31 二度と電話してこないでください！」
32

33 SE：通話が切れる音

34 SE：ヒロインが電話を掛ける

35
36

1 【3】
2 南部「ちよつとお、もうかけてこないでって言ったじゃないですか。
3 今のでわかりませんでした？
4 終わりですよ、おーわーり。
5 会社には「警察沙汰にはしたくないんですう」って
6 言っておいてあげますから、
7 動画をバラされなくなったら、
8 ちゃんと口裏合わせてくださいよ？
9 後輩に入れあげて酔わせて犯して、
10 ストーカーしてた変態さんとしてね。
11 じゃあもう着信拒否するんで。さよなら」
12

13 SE：通話が切れる音

14 SE：ツ、ツ、ツ

18 ■場面転換

19 回想を終え、再びサロンへ。
20

21 BGM：フェードイン
22

23 【コンシエルジュ、ヒロインを優しく慰める】
24

25 【1】
26

27 コン「なるほど。
28

29 お話、よく分かりました。
30

31 その後あなたは仕事を追われ、
32

33 動画も結局、面白半分にネットに流されてしまった。
34

35 許せるはずがありません。
36

37 ご安心ください。
38

39 私がお客様の復讐をお手伝いいたします。
40

41 憎い男をさらって、縛って、痛めつけてやりましょう。
42

43 あなたの望むままに」
44
45

トラック2 目には目を

【拉致された南部が椅子に拘束されて、さるぐつわを噛まされている】

SE: ドアを開ける

【9】

南部「んう……？ んーんうううううう！

【先輩……？ どうなってるんですかこれ！？

をさるぐつわ噛まされた状態で言うと思ってください】

SE: ヒロインが歩み寄る足音

SE: さるぐつわの金具を外す

【1】

南部「ん、ぐ……あああ！

はあ……！！ はあ……！！

なんなんですか、これ？

こんな……バカみたいな冗談やめてくださいよ。

今なら全然許しますから、

これ、外してください【言い終わる前に顔を叩かれる】

SE: 強めにひっぱたく

南部「いったっ……！！

何で叩くん【言い終わる前に顔を叩かれる】

SE: 強めにひっぱたく

南部「いてえつつてんだろ！

いい加減にしろよクソ女！

僕に文句があるなら警察にでも

なんでも行けばよかっただろ！?

それをこんな……イカれてるよあんた！

絶対警察に捕まるからな！」

←
ココから
すゝと①Z"

1
2 【ヒロイン「どうしてネットに動画を流したの？」】
3

4 【1】
5 南部「はあ？ ネットに動画流したから何？
6 そしたら人をさらって叩いていいわけ？

7 てか、僕が流したんじゃないし。

8 会社の奴らが、先輩の悪事を

9 みんなに知らせなきゃって言い出して……

10 僕は止めましたよ、もちろん。

11 でも勝手にアップされたんです！

12 ほら、僕は悪くない。でしょ？

13 わかったら早く解放してくださいよ！」
14

15 SE:スプーンを取り出す
16

17 【ヒロイン「今から私を言葉とを繰り返したら解放してあげる」】
18

19 南部「は？ 言葉を繰り返させて……」

20 それ、何の仕返しですか？

21 別に、何でも言いますけど。罪の告白でもすりゃ満足ですか？」
22

23 【ヒロイン「僕の右目をスプーンでえぐってください」】
24

25 南部【動揺して】「は？ 何？」
26

27 目をえぐるって……

28 いや、無理でしょ。馬鹿でしょ!？」
29

30 【ヒロイン「言わなきゃ解放しない」】
31

32 南部「いやだ、言わない……！」

33 本気で僕の目をえぐろうなんて、

34 思っただけですよね？

35 できるはずない、そんなの……！」
36

【ヒロイン「言わないなら鞆丸をつぶす」】

1
2
3 南部「はあ!？」
4
5

6 こうがんって……何？ 金玉のこと？
7 つ、潰すって……
8 目玉か金玉か選べってこと!？
9 できるはずないじゃないですか!」

10 SE:ハンマーに持ちかえる金属音

11 南部「ちよつと待って！
12 待って待って待ってって！
13 ハンマーはナシでしょ？
14 そんなことしたら死んじゃうって！」
15

16 【ヒロイン、威嚇でテーブルたたく】
17

18 SE:ハンマーで木製のテーブル強くたたく
19

20 南部「わかった言う！ 言うから！
21 スプーンで僕の右目をえぐってください！
22 これでいいんでしょう!？」
23

24 SE:スプーンに持ちかえる金属音
25

26 南部「ああ……うそでしょ、嫌だ……!!
27 そのスプーン置いてくださいお願いします!
28 待ってよ！ 先輩が言えって言ったから、
29 従っただけじゃないか!
30 目なんてえぐってほしいわけないだろ!？
31 嫌だ嫌だ嫌だ!
32 やめて、やめてよ先輩謝るから!
33 ごめんなさいごめんなさいごめんなさい!
34 【ここからえぐる】あああああああああ!」
35
36

1 SE:右目えぐる

2 SE:えぐった目玉トレーに捨てる

3 SE:スプーンを置く

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

【1】

南部「ああああああ！ あああああああ！

目が、目、が……痛いよ、いたい、いたい……！

【泣きながら】見えない、見えない、見えない……ッ

助けてママ……ママア……」

【ヒロイン、もう一つの目をえぐろうとする】

南部「なに……？ ちょっとまってよ……！！

両目ともえぐるなんて聞いてない！

右目だけって言ったじゃないか！

助けて！ 助けて助けて助けてえ！」

【ヒロイン、南部の眼球の手前でスプーン止める】

南部「……何？ これ、何でとめてんの？

なんだよ！ なにがしたいんだよ!？」

【ヒロイン「左目が嫌なら、ほかのところ選んでいいよ】

南部「え……？ え、選べって……

目、意外の場所……？

あ、待って選ぶ！ 選ぶから！

ええと……あんまり痛くないと……

わきばら、とか……？」

【ヒロイン、スプーンを南部の右脇腹に押し込む】

【7】

南部「あ、ぎ……あ、ああ！

待ってやっぱ無理だ！

やめて痛い！ 痛い痛い！」

1
2
3 SE:肉をスプーンでえぐる

4 【1】
5 南部「【がん泣き】ああああ！ あああああ！
6 もうやだ！ もうやだもうやだあ！
7 なんて俺がこんな目にあうんだよお！」

8
9 SE:地団駄

10 SE:椅子ガタガタ

11
12 【1分程度泣き言とすすり泣きアドリブください】

13
14 【ヒロイン「許してほしい？」】

15
16 南部「え……？」

17 そりゃ、許してほしいけど……
18 でも、【泣きながら】どうせ殺すんだろ……？」

19
20 【ヒロイン「助かりたければ、私の言うことを繰り返して」】

21
22 南部「ほんとに？ そ、それだけでいいの？

23 あ、ああ……なんでも言う……！」

24 命令どおりにする……！」

25 だからもうひどい事しないで、お願いだから……！」

26
27 【ヒロイン「この先一生、あなたの奴隷としていきます。命令にはすべて従い、決して逆らいません」】

28
29
30 南部「この先一生、あなたの奴隷として行きます。

31 命令にはすべて従い、決して逆らいません。

32 逆らいません……本当に……だから助けてえ……！」

33
34 【ヒロイン、南部に背を向けて歩き始める】

35
36

1 SE：南部に背を向ける

2 SE：歩き出す

3
4
5 【5↓13 遠ざかりながら】

6 南部「え？ なんで……？」

7 まって！ どこいくの!?

8 先輩の言う通りに、ちゃんと行ったじゃないですか！

9 お願ひ助けて！ 僕を置いて行かないで！

10 本当に何でも言う事聞くから！

11 奴隷になるから！

12 先輩！ 先輩！ せんばああああい！」

13
14 SE：背後でドアを閉める音

15
16 【ドア向こうでコンシェルジュが待っている】

17
18 【1】

19 コン「お疲れ様でございました。

20 お気持ちは晴れましたか？

21 後のことは、当社にお任せください。

22 けれど、もし彼を許してもいい、

23 死なせたくなないとあなたが思っているのなら、

24 どうぞ、お急ぎの決断を。

25 あまり、長くは持ちそうにありませんから——ね」

26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

■トラック3 イカれた先輩

1
2
3 【1】
4 コン「優しく」そうですか。彼を、お許しになるんですね。
5 あなたは本当に、心根の優しい方だ。
6 もちろん、奴隷のしつけも承っております。
7 一週間も当方に預けていただければ、
8 決して逆らわない奴隷に仕上げてお届けにあがります。
9 どうぞ、お楽しみに」
10

■場面転換

11
12
13 【奴隷として完全に洗脳・調教された南部。ヒロインの寵愛こそが、ヒロインの奴隷
14 としてせつせと励む】
15

16 場所・ヒロインの部屋

17 時刻・夜

18
19 【会社員としての仕事を終え、ヒロインに部屋に帰宅する南部。部屋ではヒロインが
20 本を読みながらくつろいでいる】
21

22 SE：玄関ドアが開く

23 SE：近づいてくる足音

24 SE：リビングのドアが開く

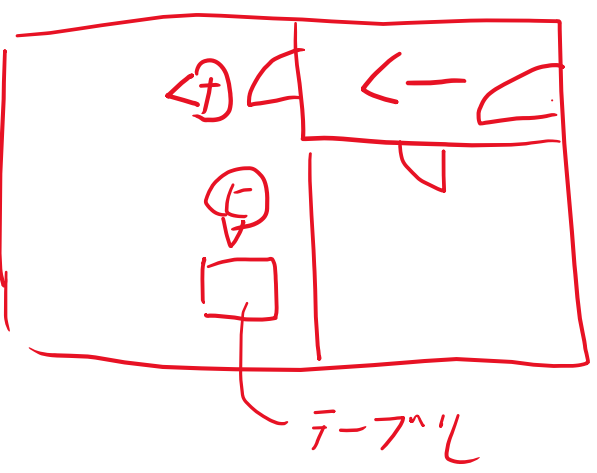
25
26 【15】

27 南部「ただいま帰りました。
28 すぐに晩飯作りますね！」
29

30 【ヒロイン「出前とったからいい」】
31

32 南部「え？ 出前……って……」

33 【焦り】「ごめんなさい！ 僕、帰るのが遅くて……！」
34



1 【ヒロイン「怒ってない」】

2

3 【15】

4 南部「怒ってない、ですか……？」

5 本当に？ よかった……！

6 一応、帰る時間連絡しておいたんですけど……

7 見てない、ですよね……そうですね。

8 ごめんなさい」

9

10 【ヒロイン「あなたの分もある」】

11

12 南部「え？ 僕の……？」

13 僕の分も、頼んでくれたんですか？

14 うわあ、嬉しいな！

15 ありがとうございます、先輩！」

16

17 SE: テーブルに駆け寄ってくる足音

18 SE: 床に座る衣擦れ

19 SE: ビニール袋ガサガサ

20

21 【8 斜め前あたりに座る距離】

22 南部「あ、やったあ！ ビーフケバブだ！

23 僕、これ好きなんです！

24 いただきますあす！【もぐもぐ】

25

26 【ヒロイン「目の調子は？」】

27 南部「んぐ？

28 あ、僕の目……まだ心配してくれるんですね。

29 ありがとうございます。

30 でも、さすがにもう大丈夫ですよ。

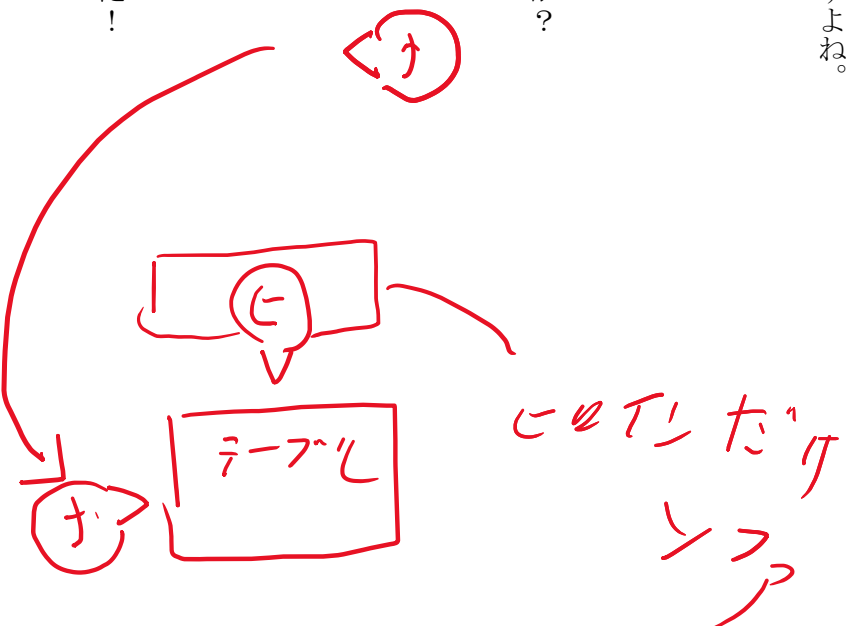
31 あれから一年ですよ？

32 義眼の調子もいいし、片目にも慣れました」

33 【ヒロイン、本を閉じ、ソファから南部の隣に移動する】

34

35



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

SE: 本閉じる

SE: 本を置く

SE: ソファから降りる

SE: 衣擦れ

【1】

南部「せ、先輩？ どうしたんですか？ 【セリフの途中でキスされる】
ん……んう……」

【ディープキス30秒程度】

南部「どうしたんですか？ 急に？

僕の目をえぐった日のこと思い出したら、
えっちな気持ちになっちゃった？」

【1→7】

南部「先輩って本当に……

【ここから7】サディストで変態なご主人様ですよね。
——うわ！」

【ヒロインに押し倒される南部】

SE: 押し倒す

SE: お互いに服脱がす衣擦れ

【ここからのセリフ、キスしながらしやべりにくそうにお願いします】

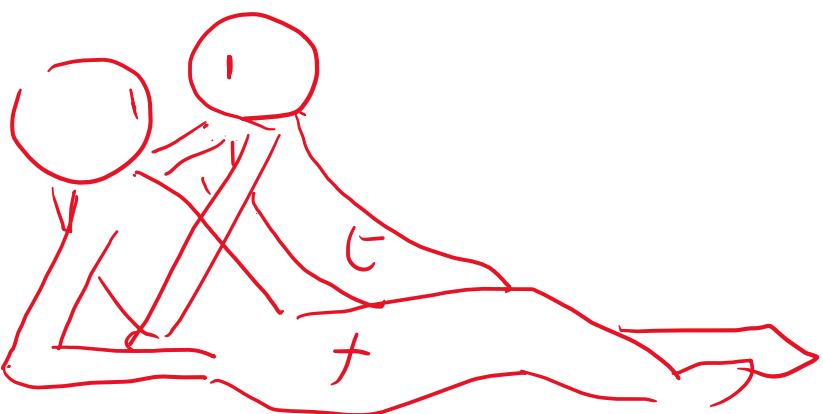
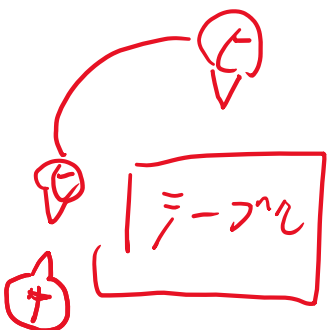
南部「ん、ちゅ……ああ、先輩って本当に、

どうかしてるよ、イカれてる。

先輩がそんなに変態だから、

僕までこんなに……頭がおかしくなっちゃった……！」

【キス(1)まで】



ここから
ずっと同じ
位置

1 【1】

2 南部「責任、とってくださいよ。」

3 ちゃんと僕のご主人様として、

4 僕のこといじめて、苦しめて、命令して」

5
6 【ヒロイン、南部の首に両手をかける】

7
8 南部「あ、首……」

9 締めながら、僕の事犯したい？

10 いいですよ、思い切り閉めてください。

11 先輩のその目、その顔……すごくきれいだ」

12
13 南部「ほら、見てください、僕のこころ」

14
15 SE：ベルトはずす

16 SE：ファスナーおろす

17
18 南部「先輩があんまりいやらしいから、

19 さわられてもないのに、もう出ちやいそう」

20
21 SE：首を絞めるぎゅって音

22
23 【ヒロインの首絞めの強度は「ちょっと苦しい程度」ですので、そんなに息も絶え絶えにならないで大丈夫です。ただプレイとして苦しがつてます】

24
25
26 南部「あつく……！」

27 は、くるし……先輩の指、食い込んで……

28 あ、ああ……ッ！」

29
30 SE：挿入する水音

31
32 南部「あ、すごっ、奥まで、一気に……」

33
34 【ヒロイン、南部を犯すように激しく腰を振る】

35
36

1 SE:出し入れする水音

2 SE:肉を打つ音

3
4 【南部、女の子みたいに1分程度喘いでください】

5
6 【1】

7 南部「は、アハハ、アハハハ……！」

8 すごい、すごい先輩っ……！」

9 首、絞められながら……先輩の中で、

10 ちんぼぎゅーぎゅーしめられてるッ……！」

11 きもちいい、きもちいい……！」

12
13 【切羽詰まった激しめの吐息のみ1分程度】

14
15 南部「ああ、噛んで……！」

16 僕の肩、噛んでください……！」

17 血が出るくらい強く、強く噛んで……！」

18 いく、いく、もう……」

19 ああ、ああ……あっあああ……！」

20
21 SE:噛みつく音(※多少嘘っぽくても大丈夫です)

22
23 【南部、噛まれた痛みで果てる】

24
25 SE:ストップ

26
27 南部「はあ……はあ……」

28 あれ……？先輩、まだ……？」

29 【怯え】ごめんなさい、僕、

30 先にイっちゃって【顔をひっぱたかれる】」

31
32 SE:強めにひっぱたく音

33
34 南部「いったっ……！」

35 っ、ごめんなさい。叩かないで……！」

36 【顔をひっぱたかれる】あう！」

1
2
3 SE:強めにひっぱたく音

4 【1】
5 南部「泣く」う、うう〜

6 せ、先輩が叩くから……

7 出したばかりなのに、

8 「またたつてきちゃったじゃないですかあ」

9
10 SE:出し入れする水音

11 SE:肉を打つ音

12
13 南部「あ、やだ……！」

14 はげしく、されたら……！」

15 すぐにまた、イっちゃう、イっちゃうからあ……！」

16
17 【1分程度喘ぎ声ください】

18
19 南部「ああ、イク、イクイクイク……！」

20 いッグウウウウ！」

21
22 SE:ストップ

23
24 【JJJから、泣きつつややろれつが回らない感じで】

25
26 南部「はあ……はあ……

27 も、無理……空っぽれす……

28 もうたたないからあ……！」

29
30 南部「ごめんなさい。

31 役に立たない奴隷でごめんなさい。

32 がんばりますから、捨てないでください

33 おねがいします、お願いします……！」

34
35 【ヒロイン、南部を抱きしめる】

36

1 SE:抱きしめる衣擦れ

2
3 【3】

4 南部「あ……」

5 先輩にぎゅってされるの、すごい安心する。

6 ね、先輩は僕のこと憎んでもすもんね？

7 だから僕のこと、これからもっと苦しめますよね？

8 働かせて、犯して、死ぬまで毎日、

9 こうやって一緒ですよね？」

10

11 【ヒロイン「そうだよ」】

12

13 南部「ああ、よかった……」

14 先輩、大好きです。

15 これからもずっと、

16 僕の事だけ苦しめてくださいね」

17

18

19

END